

まなざし

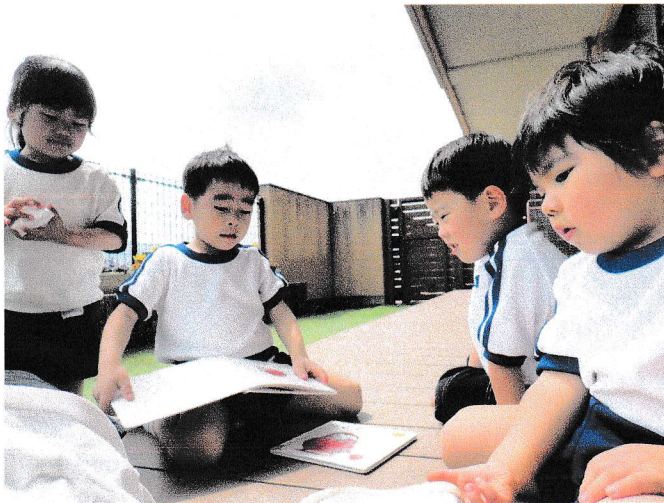
2025.5.15. こあら組
担任: 磯部 健太

こあら組での生活が始まり約1ヶ月、
子どもたちは、自分の「好き」を見つけて
遊びに向かっています。こども園のくらしを

経験するコトの一つひとつが「初めて」になります。これから出会う
たくさんの「初めて」が、子どもたちにとって楽しく、面白く、興味深いコトに
なるように願っています。一方で、時には思い通りにはならずに落ち込んだり



悲しかったり、怒ったり... そんな気持ちも
経験することもあるかもしれませんが、
保育者と一緒に気持ちを落ち着けたり、
ゆったりすごしたりしながら、少しずつ



気持ちを整えたり折り合いをつけたり
していくこともあると思います。



園のくらしのなかで出会う自分や他者の
感情、また、様々なモノ、コトとの出会いのなかでの発見や気づき、そのひとつ
ひとつに向ける子どもたちの **まなざし** の先を、これからお伝えして
いきます。遊びに向かう子どもたちは、「面白そう」「やってみたい」「もう1回」
「なんで?」「わかった!!」などの気持ちであふれています。私たち保育者は、子どもたちの
気持ちに寄り添い、**まなざし** の先を共に見て、一緒に面白がり、くらしを
共にする一人(共主体者)として関わり、ていきたいと思っています。一年間
どうぞよろしくお願いいたします。

さて、そんなこあら組の子どもたち、とても意欲的に遊びます。絵本が大好きで、担任が読み始めると自然と集まり、「次これ読んで」「これ」と次々リクエスト。そんな保育者の姿を見て、互いに読み語りっこをする姿もありました。



天気が良い日は思いきり外遊び。築山の乙へんから水を流すと川のようにいきおいよく流れる様子が面白く、「も、と、と」と何度も水を運びます。ペットボトルにとけくらの水を入れると運べるのが、重さを

感じながら試したり、何本も同時に運ぶために手押し車を使ったりと、試行錯誤の姿が見られました。初めての流水に初めてのはだし。ドキドキしながらも!? くっを脱いぞ一歩踏み込む子がいたり、喜んで泥の中を



走り回り子がいたり、遠くから見つめていたり、まなざしの向け方も様々。こあら組だけでなく、ぱんだ組、きりん組の友達との関わりの中が得る刺激が、新たな遊びへとつながったり、くらしの知恵としてつながったりもしていきます。

この一年で出会うたにさんの初めてが経験となり土台となり、豊かな人生の礎となりますよう願っています。